

岡山中央福祉会 2018年度の事業まとめと2019年度事業計画について

社会福祉法人 岡山中央福祉会

I 法人を取り巻く情勢について

7月西日本豪雨災害は倉敷市真備地区をはじめ県内に多くの被害をもたらした。東区内においても砂川の決壊により平島・上道・古都地区等で床上浸水・車両の水没など被害が発生した。当法人においても直接の被害を受けた職員が12名、職員家族、利用者・家族などに被害が及んだ。

ケアハウスあかね、会陽の里で福祉避難所、浴室の無料開放、健生園居宅を中心に炊き出し、相談活動さらに南古都団地災害支援センターへの支援活動などに取り組んだ。今回は、法人事業所の被害がなかったが、法人事業所が被災した場合の対応、地域への支援のありかたなど行政、他団体、施設協議会、民医連などとの連携をどう作っていくのが課題である。

2018年度介護報酬は、全体で0.54%の引き上げに止まり、さらに総合事業への移行によって通所事業、訪問介護事業所を中心に事業所経営が深刻なものとなった。

2019年度は、10月の消費税の10%への引き上げに伴い介護職員処遇改善加算の引き上げ等が厚労省から示されているが、職員の給与改善策については経験の長い介護職員に月額8万円の引き上げの内容とは程遠く、非介護職員も対象としてわかりにくい仕組みになっている。今後、更なる改善を求める必要があります。

沖縄では、辺野古新基地の埋め立てに関して2月24日県民投票が実施され、7割を超える埋め立て反対票が投じられた。普天間基地の廃止の代替として沖縄の自然を破壊してまで新たな基地建設が本当に必要なのか、沖縄県民と国民の当たり前の感情を尊重するよう政府に働きかけることが求められています。

4月から厚労省は働き方改革法を施行します。有給休暇の年間5日間の消化の義務付け、超過勤務の上限設定、同一労働同一賃金と働きやすい職場づくりのためには、意味のある改革ではあるが、介護業界では人手不足の中でますます直接ケアに携わる時間が短縮しケアの質の低下が危惧されています。必要な人材が確保できる環境の整備は絶対です。

II 法人各事業所の事業活動

(1) 施設・事業所の状況

拠点区分	事業種類	定員	1日平均利用人数	事業所名
中野けんせいえん	介護老人福祉施設	110名	102.5	特別養護老人ホーム 中野けんせいえん
	短期入所生活介護	10名	9.4	
	障害者自立支援短期入所			
	通所介護（予防含む）	15名	12.3	中野けんせいえんデイサービスセンターひなた
健生園	通所介護（予防含む）	45名	34.1	健生園デイサービスセンター
	居宅介護支援（予防含む）		9.3	健生園指定居宅介護支援事業所
	在宅介護支援			健生園在宅介護支援センター
あかね	軽費老人ホーム	50名	47.1	ケアハウス あかね
	訪問介護（予防含む）		53.9	ヘルパーステーションあかね
	障害者自立支援訪問介護		5.2	
	福祉有償運送		5.4	岡山中央福祉会移送事業所
	太陽光発電			あかね太陽光発電
さくら苑	介護老人保健施設	80名	71.2	老人保健施設さくら苑リハビリセンター
	短期入所療養介護	(80)	3.6	
	通所リハビリ	70名	54.0	

	居宅介護支援		8.5	さくら苑指定居宅介護支援事業所
	通所介護	35名	23.5	さくら苑デイサービスセンターつくしんぼ
	在宅介護支援			さくら苑在宅介護支援センター
会陽の里	養護老人ホーム	80名	76.7	養護老人ホーム 岡山市会陽の里
	岡山市短期入所	10名	0.2	
	デイサービスセンター	19名	6.2	
さっちゃん家	認知症対応型生活介護	9名	8.0	グループホーム さっちゃん家
	通所介護	10名	7.3	デイサービスセンターさっちゃん家
穂香の里	地域密着型介護老人福祉施設	29名	28.2	
	短期入所生活介護	10名	9.1	特別養護老人ホーム 穂香の里
	小規模多機能型居宅介護	29名	22.7	小規模多機能型居宅介護事業所 穂香の里
	在宅介護支援			上南在宅介護支援センター
かなおか	高齢者向け住宅	46室	45.1	サービス付き高齢者向け住宅 シルバーライフ かなおか
	通所介護（予防含む）	23名	17.2	デイサービスセンターかなおか

① 中野けんせいえん・さくら苑の長期入所が、定員に比して稼働が低下した。穂香の里長期入所は、稼働が高まった。入所施設は、要介護の上昇、入居者の入院、在宅復帰・退所者の増加などベッド稼働を高めることが困難な状況がある。一方で施設ニーズは高まっており法人内外の関係機関とのさらなる連携強化が求められている。とりわけ、中野けんせいえんの入院者の増加は、施設内の医療・介護のあり方について見直すことが求められています。

② 4月から会陽の里デイサービスセンターが岡山市の指定管理により事業開始した

③ さくら苑デイサービスつくしんぼの稼働が低下した。法人内に7か所の通所系事業所があり1年前、6か所で実利用者395名、一か所当り平均65.8名の利用者が現在7か所で428名、平均61.1名と4.4名減少している。既存の6か所だけでみると平均68名と2.2名増加しており会陽の里デイとつくしんぼの利用者確保が課題となっている。

④ 訪問介護事業は、総合事業への移行により大幅に利用者が減少している。特に要介護利用者が減少しているのが特徴である。自宅での要介護高齢者が減少し代わってサ高住などの集合住宅や施設へ移動した結果である。自宅で暮らし続けたいと願う方の希望に寄り添う事業展開の模索が求められている。

⑤ かなおかサ高住は、入院者・転居者もあるが稼働はほぼ満室を維持している。待機者も多く比較的安い価格で入居できる集合住宅が必要とされている。

(2) 各事業所・拠点の地域に向けた主な取り組み

- 中野けんせいえん
家族会活動、さいさい子ども食堂の共催、地域運営推進会議、ひなた新聞の発行
- 健生園・あかね
福祉カフェ（チャオ芳野）、健生園広場の発行、健生園デイサービス新聞の発行、健生園・あかね盆踊り大会、町内との合同防災訓練
- さくら苑
安全パトロール隊（週1回）、地域サロンへの企画・職員派遣、さくら苑まつり
- 会陽の里
安全パトロール隊、リハビリマシンの地域開放、会陽の里まつり
- さっちゃん家
地域運営推進会議、さっちゃん家まつり、さっちゃん家だよりの発行、
- 穂香の里

- しゃちほこの会、福祉カフェ、地域運営推進会議、穂香の里だよりの発行、穂香の里まつり、
- かなおか
カフェ都紀の郷、老人クラブとの協同、もちつき

Ⅲ 人材確保と職場づくり —誰もが働きやすい職場づくりのために—

表1 18年度の職員動向

事業所名	期首職員数	退職者数	採用者数
中野けんせいえん	98 (27)	7 (1)	8 (0)
デイサービスひなた	5 (3)	1 (1)	5 (5)
健生園デイサービス	27 (23)	2 (2)	4 (4)
健生園居宅介護支援事業所	5 (0)	0 (0)	2 (0)
ケアハウスあかね	37 (21)	9 (7)	4 (4)
ヘルパーあかね	28 (23)	0 (0)	0 (0)
さくら苑入所	56 (14)	8 (3)	17 (11)
さくら苑通所リハビリ	31 (15)	2 (2)	1 (1)
さくら苑デイつくしんぼ	18 (11)	1 (1)	0 (0)
さくら苑居宅介護支援事業所	7 (1)	2 (0)	2 (0)
さっちゃん家	17 (14)	8 (6)	6 (6)
岡山市会陽の里	44 (23)	4 (4)	6 (6)
会陽の里デイサービス	5 (2)	0 (0)	3 (3)
穂香の里特養	44 (22)	2 (1)	9 (6)
穂香の里小規模多機能事業所	19 (13)	3 (3)	2 (2)
かなおか サ高住	12 (10)	2 (2)	5 (5)
かなおか デイサービス	10 (7)	1 (1)	0 (0)
本部	7 (2)	0 (0)	1 (1)
合計	471 (229)	52 (34)	75 (54)

() は、契約職員数

(1) 退職者総数は、52名となり前年度比19名の減少となり退職率が10%を下回った。とりわけ、中野けんせいえん、穂香の里の退職者が大幅に減少した。退職の状況もやむを得ない理由(定年退職、本人都合等)が大半をしめたが、一部職場の人間関係を理由とした退職があった。

(2) 採用者数は、72名 常勤採用は新卒採用が5名で中途採用13名の18名となった。人事部をはじめ事業所単位での職員採用の活動が一定成果となり介護職・看護職などで常勤中途採用が増加した。新規学卒者の受け入れは年々減少しており危機的な事態である。介護関係職員の給与水準の引き上げは当然だが、社会的な地域の向上、介護職場のイメージの改善、介護の専門性の向上など 専門職として確立することが必要である。

介護職のみならず、看護、相談員、セラピスト、調理師など質の高い人材の確保と育成も課題であるが、職種を超えて利用者へのケア・支援を行う協働の意識は必要である。

(3) 「誰もが働きやすい職場づくり」の実現のために

介護事業所は、近年小規模化し利用者との関係のみならず職員間の関係も濃密になりがちである。それゆえ関係が悪化すると同じ空間にいらなくなるほど追い込まれる場合も生じ、ハラスメントと言われる状態になる。今年度ハラスメントの訴えは数件あった。

職場の管理運営上のポイントとして

- ① 管理者・役職者の力量で8割は決まる。良い役職者は権力者ではなく職場のマネジャー
- ② 職場の「ルール」「目標」が明確に示されている。リーダーは職員の先頭に立って実践している

ことがある。

③ 「楽しかったり」「やりがいを感じる」ことでしんどい仕事でも疲労感は減少する。

④ 職員の話しを聴き・共感する姿勢が大切。あらゆるコミュニケーションツールを活用して丁寧な職場運営を目指す

(4) 職員を対象とした「職員何でも相談窓口」を開設します

IV 介護報酬改定初年度としては危機的な経営結果

2018年度経営のまとめ (別紙資料)

2019年度 事業計画・予算

1、法人経営の理念

私たちは高齢者・障害者が健全で安らかな生活を保障され、かつ社会への平等で完全な参加の実現を目指します。

- 一 高齢者、障害者の人権を尊重し、豊かな心で自立を支援し、明るくうおいのある保健福祉活動に励みます
- 一 高齢者、障害者の福祉と医療の充実と介護の向上のために学び、考え、実践できる人づくりをすすめます
- 一 経営と職員の生活と権利を守り、民主的な管理運営をすすめ、地域にひらかれた非営利協同の組織として活動します
- 一 地域の人々と力をあわせ、高齢者、障害者が安心してらせる「福祉と健康のまちづくり」をおこないます
- 一 生存権と国の社会的使命を規定した憲法25条を生かした福祉と医療制度、平和で豊かな社会づくりをすすめます

2、2019年度の目標

- (1) 改正社会福祉法人法に基づき内部統制の仕組みづくりを進めます
- (2) 地域住民のニーズに応える事業所展開と事業内容の質の向上につとめます
- (3) SDGS (※1) の理解と実践で地域社会へ企業・社会福祉法人としての役割を果たします
- (4) 「ふくし」(※2) の視点を持ち、人を大切に、平和を希求する人材育成につとめます

3、評議員会・理事会の役割と開催

評議員会は、定款の定める重要事項を決定する最高意思決定機関

理事会は、業務執行の決定を行い日常経営に責任を持つ

評議員会・理事会は、日程表により開催する。ただし、変更のある場合はその都度開催する

	評議員会	理事会
第 1 回	6月21日 (金)	4月24日 (水)
第 2 回	9月25日 (水)	5月31日 (金)
第 3 回	11月27日 (水)	6月21日 (金)
第 4 回	3月25日 (水)	7月31日 (金)
第 5 回		8月28日 (水)
第 6 回		9月25日 (水)
第 7 回		10月30日 (水)

第 8回		11月27日(水)
第 9回		12月25日(水)
第10回		1月29日(水)
第11回		2月26日(水)
第12回		3月18日(水)

4、事業内容と管理者体制 ()内は再掲

拠点区分	事業種類	定員・規模	事業所名	管理者氏名
中野けんせい いえん	老人福祉施設	110名	特別養護老人ホーム 中野けんせいいえん	井上伸二
	短期入所生活介護	10名		
	障害者自立支援短期入所	(10名)		
	通所介護	15名	中野けんせいいえんデイサービスセンター ひなた	赤木仁美
健生園	通所介護	45名	健生園デイサービスセンター	西崎弘美
	市総合事業・通所サービス			
	居宅介護支援	月350件	健生園指定居宅介護支援事業所	大野尚子
	在宅介護支援		健生園在宅介護支援センター	
あかね	軽費老人ホーム	50名	ケアハウス あかね	狩野理依
	訪問介護	日60件	ヘルパーステーションあかね	藤本好子
	市総合事業・訪問サービス			
	障害者自立支援訪問介護			
	福祉有償運送		岡山中央福祉会移送事業所	
さくら苑	介護老人保健施設	80名	老人保健施設さくら苑リハビリセンター	原野吏奈子
	短期入所療養介護	(80)		
	通所リハビリ	70名		
	居宅介護支援	月300件	さくら苑指定居宅介護支援事業所	青木節子
	通所介護	35名	さくら苑デイサービスセンターつくしんぼ	藤原弘典
	市総合事業・通所サービス	(35)		
	在宅介護支援		さくら苑在宅介護支援センター	
会陽の里	養護老人ホーム	80名	養護老人ホーム 岡山市会陽の里	藤岡理恵
	岡山市短期入所	10名		
	通所介護	19名	会陽の里デイサービスセンター	
さっちゃん 家	認知症対応型生活介護	9名	グループホーム さっちゃん家	中野光子
	通所介護	10名	デイサービスセンターさっちゃん家	中野光子
穂香の里	地域密着型介護老人福祉施設	29名	特別養護老人ホーム 穂香の里	久富めぐみ
	短期入所生活介護	10名		
	小規模多機能型居宅介護	登録29名	小規模多機能型居宅介護事業所 穂香の里	浅間仁司
	在宅介護支援		上南在宅介護支援センター	久富めぐみ
かなおか	サービス付き高齢者向け住宅	46室	サービス付き高齢者向け住宅 シルバーライフかなおか	片岡尚子
	通所介護	23名		
	市総合事業・通所サービス	(23)	デイサービスセンターかなおか	

- ① 中野けんせいいえん、穂香の里両特養の連携を利用者確保、ケア実践面で強め交流を深める
- ② さくら苑の在宅復帰機能の強化と大規模多機能施設として地域の在宅介護を支援する役割を明らかにする

- ③ 在宅介護支援センターの位置づけと機能強化
- ④ 会陽の里は、さらに地域にひらかれた施設としての役割を發揮する
- ⑤ ニーズが年々拡大しているサービス付き高齢者向け住宅の役割に応じた経営への転換

5、組織図（別紙）

6、事業所職員配置計画（ ）内は再掲

事業所名	常勤 職員数	契約 (兼務) 職員実数	職員数合計	常勤換算職 員数	19年3月常勤 換算数	
					常勤	契約
特養中野けんせいえん	70	28	98	90.0	73	17.6
デイサービスひなた	2	7	9	6.4	2	4.5
健生園デイサービス	6	21	27	19.0	6	13.6
健生園居宅介護支援	7	1	8	7.8	7	0
健生園在宅介護センター	(2)					
ケアハウスあかね	14	22	36	26.0	14	11.1
ヘルパーステーションあかね	5	23	28	17.0	6	11.3
岡山中央福祉会移送事業所	(5)					
さくら苑入所	40	12	52	46.0	38	8.2
さくら苑デイケア	15	15	30	25.0	13	12.5
さくら苑つくしんぼ	8	10	18	15.5	7	6.9
さくら苑居宅介護支援事業所	5	1	6	5.8	5	
さくら苑在宅介護支援センター	(1)					
岡山市会陽の里	20	24	44	35.0	19	16.2
会陽の里デイサービスセンター	3	5	8	7.0	3	1.8
グループホームさっちゃん家	1	7	8	7.5	1	5.1
さっちゃん家デイサービス	1	7	8	6.0	3	5.8
特別養護老人ホーム穂香の里	18	18	36	27.0	16	7.4
上南在宅介護支援センター	(2)					
小規模多機能穂香の里	8	11	19	16.0	7	16.3
シルバーライフかなおか	1	12	13	9.0	2	6.4
デイサービスセンターかなおか	3	7	10	9.0	4	6.1
本部事務局	6	3	9	8.0	5	1.9
県民医連事務局への出向	1					
合計	234	234	468	383.0	237	152.4

7、主な事業開始・設備投資・資産処分等の計画

(1) 事業開始及びプロジェクト検討事業計画

- ① グループホームさっちゃん家施設の新築移転（19年度中の竣工）
- ② 旧健生園施設活用事業の検討

保育園の不足は、岡山市内でも危機的な状況です。法人内でも保育所を利用できないために育休から復帰できない職員が増加しています。法人として、保育事業への参入を検討します。同時に砂川河川改修によって立ち退きが必要となる神原地区等の高齢者の住まいを中心とした高齢者住宅の検討も進めます。

- ③ 地域に向けた「なんでも相談窓口」の設置

- (2) 設備投資（300万円以上）計画
 - ① さっちゃん家グループホーム建て替え（約8千万円）
 - ② 健生園デイサービスセンター設備等の改修（約2千万円）
 - ③ 旧健生園施設の改修（300万円）
 - ④ 事業所の車両の更新を計画の中で明らかにする
 - ⑤ ケアハウスあかねで電子カルテ等管理システムの導入

8、2019年度の主な取組

(1) 経営組織強化

- ① 改正法に基づく評議員会・理事会の役割の明確化
- ② 会計監査人制度導入に向けての内部統制の仕組みづくり
 - 会計監査人による指導に基づく法人・事業所諸規程の見直し
- ③ 法人役員体制の強化
 - 理事会機能の強化（理事長・副理事長・専務理事・常務理事の役割明確化）
 - 法人監査規程の整備と監事の役割の見直し

(2) 人材確保と育成の取り組み

- ① 人事部を中心に就職フェア・就職説明会への積極的な参加
 - 年に6回の就職フェア・就職説明会への参加を目指します
- ② 人材確保を目的とした法人紹介パンフレットの作成とラインスタンプの作成
- ③ 退職者を減らす取り組み
 - 事業所の育成面談、退職者ヒアリング、職員ヒアリングの実施
 - 新規採用者の初期研修の充実
 - ベテラン職員（概ね15年以上）を対象とした研修会の開催
 - 全職員を対象とした異動制度の整備と実施
- ④ 職員の心身における健康増進の取り組み
 - 定期健診結果に基づく個別指導の徹底をはかります
 - ストレスチェックの実施とそれに基づくメンタルケアの実施
 - 食事面から健康を維持するための職員給食の充実
- ⑤ 管理者・役職者の研修と育成及びメンタルケアの強化
 - 「心」「メンタル」の仕組み、心のケアについて役職者を対象に学ぶ機会を設けます
- ⑥ 働きやすい職場づくりの実現
 - 子育て支援のための労務条件の改善
 - 夜勤体制の見直しと夜勤中の業務見直し
 - 働き方改革法施行に伴い有休を誰もが5日以上取得できるよう記念日有休の増設等整備します
- ⑦ あらゆるハラスメントについて理解と対応
 - ハラスメント防止規程の整備
 - 職員への研修等の啓蒙活動の実施

(3) 研修の位置づけと考え方について

これまで外部・内部研修は、積極的に取り組んできました。近年、制度として参加しなければならない研修も増加し、働き方改革で休日も増加し従来の研修参加・会議参加の考え方では、直接ケアに当たる時間が確保できない事態が生じています。一方で職員体制は確保の問題もあり体制を増やすことも困難です。19年度から研修参加の考え方を次の4つの類型で実施します。

- ① 業務・公費 研修（法人や事業所の業務命令に基づき参加する講習や研修）
- ② 業務・私費 研修（法人や事業所の公募により業務として位置付けるが費用は私費の研修）
- ③ 業務外・公費 研修（法人や事業所の公募により研修費用は事業所が負担するが公休や有休で参加

する研修)

④ 業務外・私費 研修 (法人や事業所が公募し、あるいは職員からの申し出により日程等での配慮をするが 私費・休暇を利用した研修)

法人や事業所は、研修を公募する際に 研修類型を明らかにして公表すること。

(4) 民医連・法人・主な施設における事業・イベント・研修会等の計画

入社式	4月 1日
さくら苑まつり	4月28日
県民連学術運動交流集会	6月 2日
新任役職者研修会	6月22日
健生園・あかね盆踊り大会	8月31日
会陽の里まつり	9月 7日
全日本民医連認知症懇話会イン岡山	9月27日～28日
さっちゃん家まつり	10月
穂香の里まつり	10月
日本福祉大学社会福祉法人サミット防災研修会	11月
法人経験交流発表会	11月

(5) 地域から圧倒的に選ばれる事業所を目指し質の高いケアサービスの提供

地域から圧倒的に選ばれるために法人・事業所の三つの視点として

- ① プレファレンス (preference) : 事業所に対する好意度を高める = ブランドを質的に高める
- ② アウェアネス (Awareness) : 事業所の認知度を高める
- ③ デストリビューション (distribution) : 配荷 (はいか) 事業所の容量 (デイサービスなら送迎能力や人員体制) を高める = ②③は ブランドを量的に高める

事業所は三つの視点に基づき事業所の能力を評価し、その能力を高めることが圧倒的に選ばれる条件になる。

具体的には

- ① プレファレンスの視点で 他の事業所では受け入れができない利用者への対応、サービスの質 (ケア内容や食事の質) 高め 利用者や家族の満足度を高める。各事業所でそれが何か、何ができるか
- ② アウェアネスの視点で 事業所の存在はもちろんだが、事業の内容、提供するサービス、利用者の様子など 地域に知らせる取り組み
- ③ 配荷 利用者・家族が利用したいときにいつでも利用できる 体制や物理的に受け入れ可能な条件づくり
介護だけではなく全ての部署・職種において 改めて考えてみよう

(6) 地域住民のニーズに応えるための保険外サービスの実施検討

介護保険制度の縮小・限定化の中でサービスに手が届かない高齢者が増加している。一人暮らしの高齢者は、もはや介護保険制度のみでは自宅での生活ができない。本来、たとえ要介護度が高くとも本人が希望すれば自宅での生活を実現することが地域包括ケアの考え方。制度の枠を超えて、高齢者の条件に応じた保険外サービスの提供を目指します。

(7) 災害対策・交通安全対策・介護事故対策等 安全安心の取り組み

- ① 交通事故による犠牲者に対する追悼集会 4月1日
- ② 交通安全月間の実施
- ③ 自然災害を含む災害対策指針の作成と災害発生時の避難訓練の開催
- ④ 災害グッズ・備蓄食料等整備と災害発生時を想定した設備整備計画の策定
- ⑤ 介護事故対応指針の作成と介護メディエーター (※) の養成と専門家との連携

どの事業所でも様々な家族とのトラブルが起こる可能性がある。相談員、施設長などが本来は対応することで解決するのだが、対応を誤ると大きなトラブルにつながるケースは少なからずある。医療では、メディエーター（仲介者）を要請し事業所と利用者の中で気持ちをくみ取り、中立的に対応できる職員を養成している。相談員・役職者の問題解決能力の引き上げと仲介者の養成に取り組む

(8) 全職員参加の法人・共同組織強化月間（10月～11月）に取り組みます

- ① 法人・各事業所・友の会の課題を目標化しその達成のために集中的に取り組みます
- ② 会員・会費の目標設定より「班会」の開催、ブロック活動、趣味や楽しみの活動、学習会などを評価する目標設定に切り替えます。
- ③ 法人・各事業所の経営・諸活動・遅れた課題を目標として明確にします
- ④ 事業所チャレンジウィークとして経営活動等の取り組みを進めます

8、「友の会」活動と地域における公益的な取組の計画

「友の会」は、結成17年目を迎え、会員は3千名を超える岡山中央福祉会との協力共同の組織と発展してきました。ブロック単位での友の会活動や班会など一定取り組まれています。今ここに来て 活動会員の顔ぶれ、事業所内での活動などがマンネリ化しているのも事実です。友の会あるいはべんり屋事業をさらに広げるために事業所内、地域において「楽しく」活動できる友の会にリセットして取り組みます。友の会事務局長の退職によって 新たな体制で会員との関係をより一層強めることができるようにします。

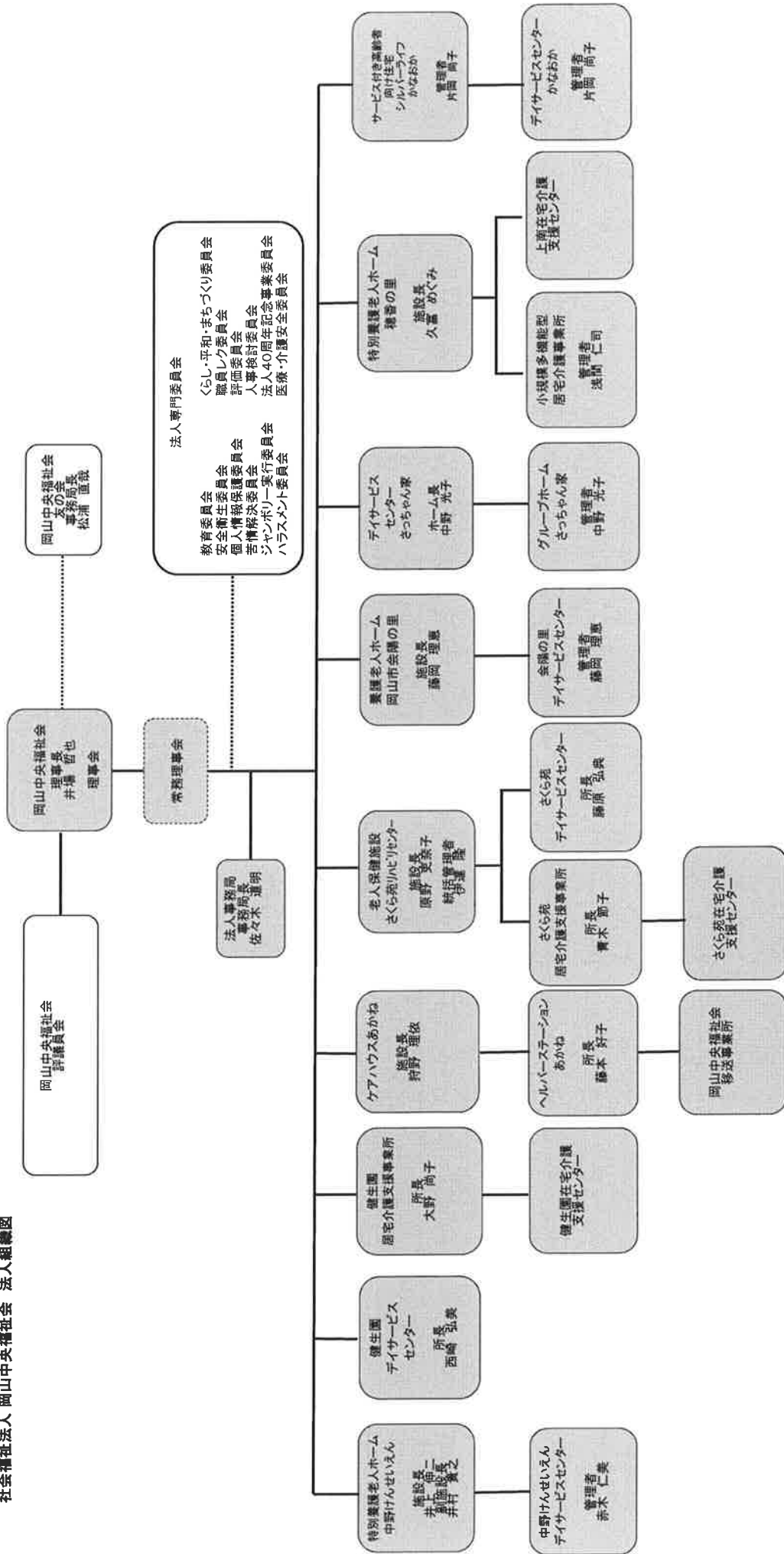
9、民医連をはじめ他団体との連携した活動

- ① 民医連の理念・方針を学びながら民医連の研修・活動に全ての事業所が積極的に参加します。
- ② 岡山医療生協と介護分野のみならず、地域での取り組みや研修に参加し組合員との交流を図ります。
- ③ 岡山市社保協など各種の団体と連携し「安心・安全のまちづくり・社会保障制度づくり」に取り組みます
- ④ 日本福祉大学社会福祉法人サミットに参加し全国の社会福祉法人に学び交流します
- ⑤ 老施協・老健協・21老福連等と連携し交流します

10、2019年度各事業所利用計画と予算（別紙資料）

11、年間予定表（別紙資料）

社会福祉法人 岡山中央福祉会 法人組織図



岡山中央福祉会 2019年度年間カレンダー

2019 4 April

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
			人事検討 委員会		常務理事会	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
			常務理事会	会計監理人 設置作業		本の会総 会
21	22	23	24	25	26	27
			理事会			
28	29	30				

2019 5 May

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
			人事検討委員 会 金川聖子(代表)		公認会計士決 算作業	
12	13	14	15	16	17	18
			決算監事監査			
19	20	21	22	23	24	25
			施設長所 長会議			
26	27	28	29	30	31	
			常務理事会		理事會	

2019 6 June

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
			人事検討 委員会			
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
				常務理事会		
30						

2019 7 July

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
			人事検討 委員会			
7	8	9	10	11	12	13
			施設長所 長会議			
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
			理事會			

2019 8 August

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
			人事検討 委員会		常務理事会	
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
			常務理事会			
25	26	27	28	29	30	31
			理事會			

2019 9 September

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
				人事検討 委員会		
8	9	10	11	12	13	14
			施設長所 長会議			
15	16	17	18	19	20	21
				常務理事会		
22	23	24	25	26	27	28
			常務理事会、 附置委員 会			
29	30					

10

2019 2020

October

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11

2019 2020

November

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28		

12

2019 2020

December

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

1

2020

January

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2

2020

February

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3

2020

March

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				